

## 人口減少時代の行政評価

### 人口減少時代の自治体ベンチマーキング（自治体業績情報の横断的比較・分析）

#### 【概要】

県内自治体から行政各分野や地域の厚生水準に関するデータ提供を受け、人口減少時代の行政経営に資するよう、比較分析した結果をフィードバックするコンソーシアムを形成する。ここで想定するコンソーシアムとは、各種の業績データを提出し、それらの比較分析結果を共有し、それぞれの行政経営にフィードバックできるような自治体の集まりである。

業績データとしては、行政の政策・施策・事業の成果や効率を比較するための（比較できる）各種指標、各自治体が自らの行政評価や各種計画の進行管理に使っている指標全般が対象となるが、網羅的に集めるばかりでなく、何らかの切り口を設定することも考えられる。

例えば、鳥取県内の自治体はほぼすべてが人口減少に転じており、各自治体には原因対策（流出防止、U I J ターン、出生率維持など）、結果対策（サービス対象・ニーズの変化・減少、税収減への対応など）の両面が必要になると思われ、そのような観点からの比較・分析も求められるであろう。

業績データは横断的即ちクロスセクションに比較・分析することに大きな意義がある。ここでクロスセクション比較とは、自治体間の比較のほか、それを踏まえて各自治体で事業間の比較をするということも含む。この比較を丁寧に行うことは、実はそれほど容易なことではなく、計量面の工夫が求められる。

【キーワード】 行政評価 人口減少 ベンチマーキング

【参加メンバー】 ・モデル構築や分析は小野が担当。 ・その他に連絡調整を担っていただける方。

【計画】 25年度－ニーズ調査、モデル構築、パイロット・スタディ  
26年度－県内自治体アンケート実施、コンソーシアム立ち上げ、比較・分析の試行  
27年度－比較・分析の実行と自治体へのフィードバック

【地域連携先】 県内全市町村、及び県庁（オブザーバー）